

第 8 回益子町図書館基本構想検討委員会議事録

日時：令和 2 年 2 月 28 日（金）

午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分

場所 益子町役場 第 2 委員会室

出席者：委員 12 名、事務局 5 名

1.開会

2.委員長あいさつ

3.会議

(1) 益子町図書館基本構想（案）について

（委員長）益子町図書館基本構想（案）について、前回の修正案について説明をお願いします。

（事務局）前回からの変更点として、大きく変更したところについて、基本方針から想定される取り組みについて、別紙にしている。報告書のほうについては、資料の 1 ページ、はじめにの部分で、防災に関する記述を簡素化し、全体のボリュームを減らしている。

4 ページの 3、他自治体との比較および新図書館の数値基準という項目で、前回の指摘から、近隣および人口規模の類似する自治体の図書館について比較表を掲載している。6 ページの第 2 章では、前回の会議で決定された基本理念を記述している。また、基本方針についても多少レイアウトに変更を加えている。基本方針については、先に述べたように、想定される取り組みを別紙にしている。12 ページ第 3 章運営方式についての部分を、表を省略し、各運営方式のメリット、デメリットという形で記述している。14 ページについても表は削除し簡略化している。15 ページの今後の検討課題については多少の文言の変更を加えている。

16 ページ第 6 章今後のスケジュールについて、前回は参考として PFI 事業におけるスケジュールについても記述していたが、PFI 等は基本計画において検討されるということから、今回は通常通りのスケジュールのみに変更している。

スケジュールの変更については、基本計画が当初、1 年で実施としていたところを、住民の意見を参考とするため、アンケートやワークショップ等を重ねることから 2 年間かけて行うと変更している。令和 4 年度基本設計、令和 5 年度に実施設計、令和 6 年度図書館整備工事、令和 7 年度図書館開館というスケジュールに変更している。場所等についても基本計画で検討することから、他の工事との関係から、スケジュールが伸びることも、あるいは短くなることもある。場所の選定については基本計画で実施することから、基本構想の段階ではこのような提案をするとまとめさせていただいた。17 ページからは付録として、これまでの審議経過、委員名簿を載せている。主な変更点は以上です。それではよろしく申し上げます。

（委員長）事前に郵送しているので、ご覧になったところから、なにかあればお願いします。

（委員）はじめにのところで、具体的な施策を説明する部分、高齢者という言葉をつかいたくないが、なにか、生きがいつくりのための拠点。のような文言をいれるとより良いと思う。また、災害に関する記述についてだが、避難場所となる施設が必要であるという点で、実際に避難場所となるかどうかという点

も考慮すれば、避難場所として適用できるような施設。のような形で留めるほうが相応しいのではないだろうか。続いて、7ページの文言、共同関係という記述だが、時流から言って、協働という言葉のほうが相応しいのではないか、検討していただきたい。

(委員長) 今の意見について、避難場所というところの表現を決定的なものから、すこし柔らかい形に変えたほうがよいということ。共同関係というところを、協働という字のほうが適切なのではないかと。うところ。なにかご意見のある方。

(委員) 新ましこ未来計画にある、幸せの共同体ましこというところでも共同が使われているところから、共同という字が良いのではないか

(事務局) 新ましこ未来計画の文脈について、共同体は共同が適切だが、さきほどの共同関係の部分は、協働が適切ではないだろうか

(委員) 辞書に出てくるのは共同のほうであるが、協働という言葉も以前から使われだしたが、一般に広く見てもらうものであるなら、新語のようなものではないほうがよい。行政用語のような印象を受ける。

(委員) 協働が違和感があるなら、協力でもよいと思う。共同は違うと思う

(委員) 共同関係、共同体と共同、共同で続いているので、協力のほうが響きが良いとおもう。

(委員) 相互的などという文言があるので、共同を取れば、意味は協力と同じなので、共同をとればよいのではないか

(委員長) 協働というのはたしかに新しい言葉であるということ、また共同共同と音の響きがつづくよりも、無くしてすっきりしたほうが良いのではないかとということでもよろしいですか。

(委員長) 基本方針については非常に分かりやすくなっていると思うが、この報告書は一般には公開しないものなのか？

(事務局) 現在検討中ではあるが、報告書のみ公開することも検討している。想定される取り組みについて公開すると、すべてが達成できるわけではないということから、基本計画において、想定される取り組みについて議論を深めていき、それを公開していくほうが適切なのではないかとということもあるので、もし一般に公開する場合は、別紙を除いた報告書の部分のみを公開することになると思う。

(委員長) わかりやすくまとめていただいたので、これは良く理解できるとおもう。運営方式の部分についても、それぞれのメリットデメリットについて述べることで、以前の表よりも分かりやすくなっているとおもう。なにか、付け加えることやご意見あれば、今回が最終の会議になるのでよろしくお願ひします。

(委員) 文中に何度か、レファレンスという文言が出ているが、レファレンスサービスが適切ではないだろうか。

(委員) レファレンスであったり、インキュベーションセンターなども耳慣れない言葉だと思うので、注釈をつければどうだろうか。

(委員) 誰もが理解できるようにという点では、そういった処置が必要なのではないだろうか

(委員) 運営方式のところ、前は民活となっていたところが、今回はいきなりPFI方式、DBO方式となっている。民活について説明し、PFI方式、DBO方式の説明となったほうがよいのではないか。

(事務局) 全体の構成として、すこし細かく記載しすぎていることで、分かりにくさが増していること

から、基本構想の段階では、運営方式についての項目は全体のボリュームを落として、さらっと説明を行うほうがわかりやすくなるのではないかと。そして最後の、次の基本計画の段階で議論を深めていくという文言に落ちるといった形式でよろしいのではないかと。

(委員長) 1、2 はわかりやすいとおもうので、3 の項目についてすこしわかりやすく、メリットデメリットに触れるくらいで良いのかなとも思う。なかなか一般の方も、理解しやすい、わかりやすい言葉で書かれていないと、どうしても拒否感が出るということがあると思うので、誰もが理解できる基本構想であってほしいと思う。それ以外でなにかある方はご意見をお願いします。

(委員) 建設予定地についての項目、益子駅周辺についての記述に、夜遅くまで勉強している学生がいるという部分についてですが、実際にそういったことがあるのか疑問がある。私が以前仕事で関わったところ、待ち合わせに利用している学生は見られたが、勉強している学生で混み合っているというところは見られなかった。

(委員) 汽車待ちで勉強している学生はいるが、夜遅くまで勉強というのはないかもしれない

(委員) テスト期間などに限れば、あの場所で勉強してから帰る学生はいるが、常時ではない

(事務局) 委員がおっしゃったように、常時いるわけではないということで、公民館もそうですが、テスト期間などになると勉強している学生が見られるということです。益子駅周辺については、この文言は無くすか、あるいは実際そういう学生の姿があるということで記載させていただいているので、これを残すか削除するか議論をしていただければいいとおもう。

(委員) いないわけではないんですよね

(事務局) では夜遅くまでという表現を削除するということがよろしいですか

(委員) 現状として駅舎で勉強している学生もあり、という文言で

(委員長) 今後の流れとして、基本構想を答申して以降、基本計画検討委員会が作られるということで、基本構想検討委員会としての会議は今回が最後になる。なにか意見があればこの場で言っていただきたいとおもう。実際、町のほうがどのように今後計画を進めていくかについてはわからないが、こういう図書館が必要だということについては伝えていきたいとおもう。

(委員) 冒頭の説明で、想定される取り組みは公開されない言っていたが、せっかくこうした形でまとめられていることもあるので、あくまで参考として、一例として記載してもよいのではないかと。

加えて、少し前後するが、最後の部分、今後の検討課題の最後の文言について、図書館整備計画の推進を要望するという部分ですが、スケジュールの次の段階をみれば、図書館基本計画とあるので、その基本計画という文言を使用すべきか、あるいは少し濁した形にするのかという点について議論してもらいたい

(事務局) 次の段階では、基本計画なので、現状の文言を図書館基本計画のという形に書き換えることが適切と考える

(委員長) それでは、図書館基本計画の推進を要望するということがよろしいか

(委員) 推進よりも策定が適切ではないか

(委員長) では、図書館基本計画の策定を要望する。という形で町に答申するということが

(委員) 基本構想で示された事項の精査という文言があるが、細部については基本計画で実施されるということか

(事務局) 基本計画において詳細な事項を決定するにあたり、基本構想で示された事項について、予算の都合などを考慮し、実現可能性などを議論していくことになる。

(委員長) 基本計画検討委員会を組織され、そこで具体的な議論を行われると思う

(委員) 審議経過に視察も記載されているが、事務局で行った視察も記入してはどうか

(事務局) 委員会で行った視察について記入しているが、事務局としての視察先も記入することはできないが

(委員) これだけ視察に行ったという事実があるので、それを記載するのは良いのではないか

(委員) 会議においても事務局の実施した視察は重要視しているので記載してもよいとおもう

(委員) スケジュールについてですが、基本計画の段階で、基本構想で示された事項の精査とあるが、どの時点で精査されるのか。2年間かけて基本計画を実施するというところで、住民説明などを実施されるのかと思うが、今回の基本構想では、予算など抜きでの議論を行ってきた。基本構想検討報告書に記載されている内容は、基本構想検討委員会の一員として説明できるものでなければならないと考える。どのようなプロセスで精査を行われるのかについてお聞かせ願う

(事務局) 現在このスケジュールについても、検討の段階であり、正確なことはお伝えできないが、来年については住民の声を広く取り入れるため、アンケートの実施であったり、構想に関する住民意見を聴取することも必要と思う。施設建設においては、補助金等があり立派な施設を建てたとしても、運営費、維持管理費が問題になってくるので、町の財政規模から考えて適切な事業費についてを来年度には検討していく必要があると考える。しかし現状ではどういう手順で行うかということの説明できない。このスケジュールについては他の自治体の先進事例を参考に作ったものであるが、かなり余裕を持ったスケジュールとしてつくったものであるため、これよりも早くなることもある。なぜなら、その要因としては現状として場所が決定していないということが大きい。構想がしっかりしていれば計画はそれほど時間はかからない場合もあるが、他の工事との関係などで、実施設計や工事のスケジュールが変わっていくことがある。そういったことに柔軟に対応するために余裕を持ったスケジュールの設定が行われている。

(委員) 令和2年度3年度の基本計画において、さまざまな事項の精査とあり、令和4年どの基本設計において予算等が確定と予定されているが、基本計画の二年間がどのように議論が行われているかが不透明な点について懸念している。

(委員) 実情と理想には違いがあるので、だいぶ覆されることがあると思う。他の自治体に関しても、予算等の関係から、基本構想基本計画と、基本設計実施設計には隔たりがあることは多いと思う。

(委員) となると精査という言葉にひっかかりを感じる

(事務局) スケジュールに関してもより単純化して、各年度に実施する計画の段階についての記述のみに留めるほうがよいかとも思う。

(委員) 精査となると、一つ一つを取り上げて、あれはダメこれはダメとしていくようなことになると思

うので精査ではないとおもう

(委員) 今後のスケジュールについては、今回の会議では諮問を受けてないということから、スケジュールは無くしても良いのではないか。実際のスケジュールについては役場の関係部署との関わりから決まってくるので、会議においてスケジュールは諮問されていないので、諮問を受けていないものを報告書に記載する必要もないのではないか

(委員長) だいたいこういうスケジュールで進んでいくということを頭にとどめておくということで、細かい点をここで言ってもどうしようもないので、それについては答申をだしたあとに町のほうでお任せするということで

(委員) 基本構想→基本計画→基本設計→実施設計→工事→開館という流れは残ってもいいと思う。しかしスケジュールの右の項目に記載されている部分は、実際私たちにはわからないので、どのような補助金がどのタイミングであるかなど、わからないことは説明できない。ただ、計画の流れについてはそのまま良いとおもう

(委員長) 細かいところは省いて、スケジュールの流れなどは良いということで

(委員) 実際にいろいろなことを決定する場において、たとえば私は児童に関連することを重視しているので、そういったことを決めるにあたって、市井の人が関わるのが気になっています。

(事務局) 基本計画の委員会のメンバーをどのように構成するかという点を考えている段階なので、事務局としては、地域密着型の図書館にしたいという思いがあるので、できるだけ幅広い意見を反映して作っていったらよと考えている。基本構想検討委員会のメンバーがそのまま基本計画の委員となっていくことは難しいが、例えば議論を行うにあたってそれぞれの項目に応じて基本構想検討委員会の方に入ってもらえるようなことも検討している。しかし今回それぞれの団体の代表という形で基本構想検討委員会に入ってもらったが、次年度に関してはアドバイザーという形で専門家を交えて計画を作ってくということを考えている。

(委員長) できるだけ意見が反映されるような形をとるために、意見をいただいているということで、他になければ、このような形で報告書をまとめる。それでは意見が出そろったということで

(事務局) それでは今回いただいた意見を受けて修正したものを来週中、3月10日くらいまでに委員の皆様のお手元に届くようにしますので、3月14日くらいまでに修正が直っていない、あるいはこうしたほうが良いというご意見を生涯学習課の図書担当者へ申し出ていただいて、その後委員長と副委員長を中心に練り直したものを確定版とし、これで答申しますという形で委員の皆さんに送付します。それをもって3月末ごろ町長に答申させていただきます。答申については全員で行くということは難しいので、委員長、副委員長で実施していただくことにします。よろしくお願いします。

(委員長) 3月10日までに修正し、3月14日までに意見を上げ、確定版を再度送付するということがよろしくをお願いします

(事務局) 以上を持ちまして基本構想検討委員会の会議を終わらせていただきます。一年三か月にわたりありがとうございました